

## 震災焼却廃棄物受け入れ

県内分は2万5000トン

（生活文化環境森林）津

村衛委員長、八人▽予算決  
算常任委員会分と生文環  
境常任委員会を審議。分科会  
では増額分、十八億一千五  
百六十六万円三千田の一般  
会計六月補正予算案を全会  
一致で可決した。常任委で  
は、東北大震災の焼却廃棄  
物受け入れで、県内分は二  
万五千二百三十七万である  
ことが報告された。

### 【災害廃棄物受け入れ】

東北大震災による廃棄物  
の県内受け入れ分について、  
三谷哲央（新政みえ、  
五期、桑名市・桑名郡選

出）、奥野英介（鷹山、二期、  
伊勢市）両委員がたどりた。  
県は焼却廃棄物分として、  
二万五千二百三十七万である  
ことを明かし、同廃棄物  
は県内市町で年間約四十二  
万七千トントンが処理されてお  
り、受け入れ分は0・5%に  
当たると補足した。三谷委  
員は不燃物などが混入して  
いないかを尋ね、県は現地  
で分別されているものが持  
ち込まれていると答えた。

奥野委員は、県内市町の負  
担にならないよう、県が調  
整役を務めるよう、求めた。  
【不法投棄】桑名市五反  
田の不法投棄処理で、汚染

水が染み出していることか  
ら、県は約三億五千二百萬  
円をかけて拡散防止のため

の遮水壁などを代執行で整  
備すると報告。委員から  
は、今後も予算追加して整  
備し続けねばならないので  
はとの懸念が示されたが、  
県は明確な答弁を避けた。  
【合併浄化槽検査】県の  
委託で、合併浄化槽の定期  
検査をしている県水質保全  
協会の不正経理問題に絡  
み、県は今月末が期限の、  
同協会の報告書を待って、  
七月には新たな定期検査機  
関の選定をし、八月から実  
施したいとの意向を示し  
た。